

住民の声を積極的に聞く

より開かれた議会へ

特集Ⅰ

オープンミーティング

特集Ⅱ

私たちのお金

どう使う？

特集Ⅲ

もっとよく見えわかりやすく 町民に開かれた議会へ



Fujimi

議会だより

No.

186

令和7年5月1日



富士見町議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます

<https://www.town.fujimi.lg.jp/site/gikai>

第12回 富士見の日 フォトコンテスト・佳作「春の満開の桜の立場川の風景」 澤谷樹

より開かれた議会へ



少子高齢化と区の運営

課題

- 役員や行事、出払い参加者の確保が困難
- サラリーマン区長もいる中、区長業務の負担が大きい
- 区費や役の負担や馴染みにくさが課題となり区未加入の移住者も



提案

- 各区の世帯分析や将来推計に基づく役員構成や作業／行事の見直し
- 夜や土日に対応可能な区長向けの役場相談窓口
- 町への資料提出オンライン化、縦割り行政の改善、補助金一覧化
- 町が依頼する役の整理と見直し
- 近隣地区での共同運用の検討
- 女性や若者も役員になりやすい柔軟な区運営体制の構築検討
- 区加入促進に向けた説明会実施や集落支援員の活用

支障木や区・私有林

課題

- 倒木や支障木を報告しても町からは「予算がない」との回答
- 手が入っていないのでクマが出ている
- 林道がなくなり区有林に入れられない地区もある
- 所有者間の調整が進まない

提案

- 支障木や倒木管理に対応できる予算配分
- 林業事業者との連携や林道整備を含む計画と財源づくり

遊休農地や鳥獣被害

課題

- 田畑の 2/3 が遊休農地となっている地区も
- 地権者が遠方に住んでいる場合の連絡や管理の難しさ
- 有効な鳥獣害対策を講じないと農業が成り立たなくなる
- 鳥獣の頭数管理が難しく、被害報告をしない人も

提案

- 地権者意識改革
- ソーラーシェアリングによるエネルギー自給・副収入促進
- より強固なネットや電気柵の導入
- 地域ぐるみでの追い払い策の強化促進



堰や水路

課題

- 泥上げやU字溝の取り替え作業が高齢化でできない
- これまで管理していた農業者が減少
- 洪水時には倒木や流木が水路をせき止め、越水や破損が発生
- 別荘エリアからの排水流入

提案

- 議会も現場視察を積極的に行い、住民の声を反映した事業計画策定を
- 区全体での水路管理への協力や、町の関わり方の再検討



議会ではR5・6年度に計17地区・集落組合で区長や区議会議員の皆さんとの意見交換会を開催しました。見えてきた共通の課題と、ご提案頂いた町に実施して欲しい施策の一部をご紹介します。

空き家

課題

- 多い区には10～15軒程度あるが、貸し売りできない空き家が多い
- 相続放棄された土地/建物/別荘が問題化しているが、町からは「地権者に連絡を」との回答
- 空き家情報整理が進まない

提案

- 管理者不明の空き家や相続放棄地に対し、行政が介入できる枠組みの導入を検討
- 地域住民の協力を得て地域ごとの空き家情報をデータベース化

高齢者の移動手段

課題

- 免許を返納した高齢者は日常生活、通院が困難
- デマンドはなぜそれぞれの自治体で分かれているのか疑問
- 出張マルシェの利用者増には、駐車場所や品揃えに改善が必要
- 敬老事業の入浴券の該当者は車を運転してふれあいに行くことができない

提案

- 複数自治体で連携した効率的な公共交通システムの構築
- 出張マルシェ駐車場所増、利用者の声を反映した品揃えを充実
- 高齢者の見守りにもなる生協などとの連携の検討
- 敬老事業は高齢者の入浴券とすずらん号回数券をセットに

区内道路



課題

- 町補助金50万円は7m/年と整備完了までに何年もかかる
- 砂利敷き資材支給では大雨の度に流され根本的解決に至らない
- 道路整備が町中心部に偏り、山間部の集落の道路整備が後回しに
- 町道なのに区が整備しなければならないことへの不満
- 新規就農事業者参入や基盤整備が進み、大型車通行量増による損傷がある

提案

- アスファルト舗装化の拡充
- 水源地保全の観点なども考慮した町内公平な整備
- 基盤整備は道路維持管理の視点も併せて計画を

災害

課題

- 区未加入者は名簿がなく顔も知らないので災害時に支援できない
- 一次避難所が安全でないため小学校や企業にすぐに避難する計画の地区も

提案

- 区未加入者の名簿づくり
- 難場所の見直し、各集落独自の防災マップを公式計画に反映



R7年度予算の中ですでに事業化されている提案もありますが、お聞きした意見を基に各議員の一般質問、議会としての政策提言などで課題解決に向けて動いていきます。今後の進捗は引き続き議会だよりでご報告いたします。

7回目！

参加して
よかった！

もっと聞きた
話したい！

オープン ミーティング開催



2月15日(土)の議会オープンミーティングは、議会で行ってきた『集落』に関する3テーマに対して、住民の声を直接お聞きすることを目的に開催しました。富士見高校生を含む町内在住および在勤・在住の25名の方々が参加され、活発な意見が交わされました。

区政、参加できてる？

日頃から感じていた区の運営や集落での生活などの課題や矛盾について、世代や性別・出身地など様々な立場の違いを超えて和やかに語り合いました。集落の少子高齢化、役員のなり手不足、女性の参加・参画、区民と准区民のギャップ…、どの区にも共通した課題が見えてきました。



区の仕事は辛いイメージ。役員を選ぶ仕組みは時代遅れでは？

初めての地方暮らしで区に加入。都会暮らしとの違いを感じる

区に入るきっかけが重要。私の場合は役員が加入を誘ってくれた

女性が役員になると雰囲気が変わる

区の課題を解決するために町からの働きかけも必要

災害時も顔なじみでないと困ると思う

高齢化で役員のなり手不足もあって女性の役員が2人に

町として「この区のここがお勧め」のようなマッチングの仕組み

改革案は各区にあるはず。情報共有の場が必要

区費が高すぎる。町の主導で道路管理をしてほしい



貴重なご意見
ありがとうございました！

そして、議会としてどう動くか



- 議会だよりでの進捗報告など継続してレポート発信します
- 住民や区役員へのヒアリングなどを継続し、課題解決に努めます
- 議員個人としても一般質問で取り上げるなど活動していきます
- オープンミーティングの開催方法などアンケートを参考に次回以降に繋げていきます

災害時、 あなたならどうする？

一次避難所・二次避難所について、実際に避難所を開設した経験や、高校での備え、各地区の自主防災組織の体制や工夫が話題になりました。町がそうした好事例を各区や住民に伝えていく役割を担ってほしいという提案や、行政頼みでなくまずは個人レベルでの「自助」、自主防災組織などでの「共助」の重要性も話し合われました。



自主防災組織の体制について、今のところ町からの指導はない

避難所で大人同士では顔がわからず、小学生に「○○ちゃん家の人」と教えてもらった

高校での非常食の用意は1日分しかない。それってどうなの？

自主防災組織については参考にしたい事例になる区もあるよね

一次避難所に何があるか、自分たちも知っておいた方がいい

ヘルパー先の高齢者には枕元に懐中電灯を置いてもらっている

ご家族が遠方に住む一人暮らしのお年寄りの避難が気になる

二次避難所のリーダーは誰がやるんだろう？

避難所運営には男女両方のリーダーシップが必要



コンパクトシティってなに？

コンパクトシティを検討するなら富士見町に合った形を検討することが大事だが、いずれにしても「富士見町には移動手段の問題や農村維持の方法など様々な課題があり、それらにきちんと向き合ってより良い町づくりをしていくことが重要」との方向が出されました。

町が考えているのが一極集中型ではなくネットワーク型で良かった

LRT等を導入し、バスとのハブを機能させることができれば

個々の交通ニーズをきちんと調査して検討してもらいたい

昔から住んでいる人の意見を大事にしてほしい

コンパクトシティ化を進めることによる農村の衰退が心配

ライドシェアも実現できるように検討して行ってもらえたら

移送サービスの在り方を再度検討してもらいたい

バスの乗車人数が少ないのは運行回数が少ないのが原因では？

コンパクトシティではなく、ネットワークシティを



オープンミーティングとは？

富士見町議会では、町民の皆さんと共に歩む「開かれた議会」を目指しています。目的は、皆さんの声を町政に反映させること！町民の皆さんが町の課題について意見交換できる場所づくりを目指し、平成28年からオープンミーティングを開催しています。

消防活動

消防力強化のための装備の充実・強化

消防装備品の中継用水槽購入について、用途と性能・数量と配置先は。

三井議員



町の回答

エアで膨らますことができ入水容量は1,000リットル、山火事等で水利の中継をするもの。4台購入し町内4地区に各1台を配置する。今後随時各分団に配置していく予定。

こう評価

異常気象により各地で山火事等の災害が多発している状況から、適時に中継用水槽購入の予算化ができたことを高く評価する。



どう使う？



令和7年度予算

町の予算の

私たちの

2日半にわたる予算審査の中で各議員が質問した中から、特に取り上げたい項目の質疑内容と評価をお伝えします。

都市計画

職員の学びの更新、町民への波及に期待！

西議員



都市計画の見直し業務の中に職員の研修等に費用が充てられているが、その具体的な内容は。

町の回答

長野市の『信州地域デザインセンター（UDC信州）』の研修に11回参加。県内各地から集まる市町村職員と、座学やフィールド演習等を通して、歩きたくなるまちづくりなども学び、富士見の今後に活かしたい。



こう評価

都市計画の研修のほか、防災、男女共同参画など様々な分野で管理職、職員、町民向けの研修機会が充実。職員の学びが町民へ波及していくことに期待！

財政

政策アドバイザー事業 312万円について

織田議員



昨年度より導入された、地域力創造アドバイザーの活動内容は。

町の回答

事業の財源確保に有効なアドバイスを受けている。特に井戸尻考古館の新築補助金獲得に向けて国の関係省庁に要望するタイミングやポイントなどは的確だった。今後も町の政策などにご意見を伺っていく。



こう評価

国の関係省庁との折衝術など、職員のスキルアップに繋がられる政策アドバイザーの存在感を感じる。これから始まる大きな事業に向けて非常に心強い。

児童福祉

子育て支援短期入所事業の仕組みは

小倉議員



ケースにより乳児院・児童養護施設等で子どもを預かるとの説明があったが、児童相談所が介入するのか。

町の回答

介護や病気、または子育てに行き詰まりを感じた時等に、町が直接適切な施設に適切な期間子どもを預けられるようにするもの。児童相談所が関わる緊急及び深刻なものではなく、困った時に手助けができることが目的。



こう評価

子育てには誰かの助けが必要。強制的な措置を講ずる必要が起きる前に、親子を守る仕組みは大切。ハードルを低くし、助けの声を多く受け止めて欲しい。

サル対策

獣害対策は捕獲だけでなく住民との協働も

牛山議員



檻による捕獲だけでなく、住民への周知や協働を目的とした追い払い講習会など多方面からの対策が必要では。

町の回答

最新型の檻を2つ導入し10頭以上捕獲するなど成果をあげている。個体数が急増しているため当面は捕獲を優先するが、住民への周知策など多面的な対策の必要性は承知しており、今後着手していきたい。



こう評価

捕獲檻の成果は評価するが、住民への周知策も並行して進めて欲しい。富士見町有害鳥獣対策協議会も実効性のある構成に見直すなど改善を期待したい。



お金

防犯

防犯カメラ設置で安心なエリアに

教育費の中の社会教育費と保健体育費、それぞれの工事請負費の内訳は。



矢島 議員

町の回答

コミュニティプラザ管理運営費、町民センター施設維持管理費の工事請負費は防犯カメラ2台設置のため。今後、専門業者や警察と設置場所などについて協議し決定する。町民の皆様へも設置場所は告知していく。



2台の防犯カメラ設置は、犯罪抑止効果が高まり「ゆめ広場」など周辺の安心安全につながる。



上水道

富士見町の水道水は安全か



山口 議員

水質検査手数料が973万円と昨年度予算より増額されたPFOS・PFOA（有機フッ素化合物）の検査とその公表方法は。

町の回答

昨年8月、国の指示によりPFOS・PFOAの水質検査を追加実施し、安全性を確認した。今年度は、水質検査項目の基準変更及びPFOS・PFOA項目の追加により検査手数料を増額。水質検査結果は、町ホームページで公表。



国は、令和8年度から水質検査にPFOS・PFOAの追加を予定している。町は、住民の安心安全確保のために前倒し実施。飲料水の水量・水質の維持管理に安心。

農業

集落における農地維持推進体制の強化



名取 議員

集落支援員を新たに採用するとの事であるが、どんな人を採用し、どんな支援をするのか。

町の回答

総務省の集落支援員制度を活用し、会計年度任用職員を1名採用する。国の直接支払制度等での、煩雑な事務処理の代行等により住民の負担軽減を図る。予算上は町の負担であるが、後で交付税措置がとられる。



関係者も高齢化しており、事務処理しようにも人材がいない。最初は規模の小さい集落からかもしれないが、将来は規模の大きい集落に拡大を期待する。

出産

産後ケア拡充・妊産婦への交通費助成



渡辺 議員

町長方針「女性・若者に選ばれるまちづくりの推進」に向けた周産期支援は。

町の回答

産後ケアは北杜市の助産院も一時立替えなくチケット利用可能に。遠方分娩施設交通費等（こども病院利用時の宿泊・交通費）助成15.4万円、マタニティータクシー利用（陣痛時タクシー費用）助成6.8万円を新設。



分娩施設のない町で安心して妊娠出産できるように必要な施策。自治体を越えて医療機関・助産師と連携し、妊産婦の選択肢を最大限担保する施策に期待。

有害鳥獣対策

遠隔監視大型檻でニホンザル計11匹初捕獲



五味 議員

初捕獲は、檻の設置場所や捕獲のための餌の工夫や技法が解ってきたの結果なのか、それとも偶然なのか。

町の回答

薦木宿の生産者の皆様から残った野菜を安価で提供いただき、捕獲檻の餌が常に良好な状態を保持できているため多数捕獲が可能となった。又、熟した柿やリンゴに効果があることを確認しているので上手く活用したい。



精魂込めて育てた作物を収穫目前で根こそぎ奪われてしまった畑を見ると痛ましい。今後サルとの知恵比べとなるが、人間の英知を結集した対策に期待する。

町の考えを問う

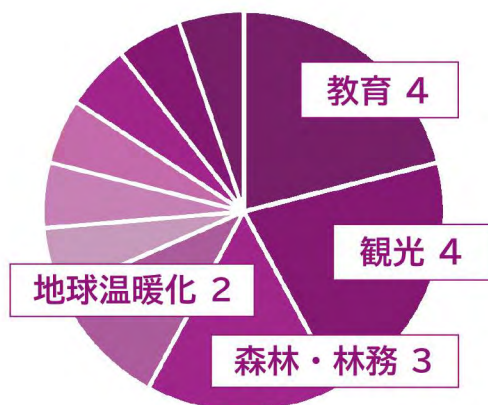
3月定例会の一般質問は3月3日・4日の両日行われました。
8人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。
質問時間は各議員の質問と行政側答弁を合わせて1時間で、
通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目
と、その答弁要旨を掲載します。



一般質問の映像はコチラ



一般質問で取り上げられた主なテーマ



質問順

1

おぐら ゆうこ
小倉 裕子

議席 9

1. 告知放送のシステム更新について

3月3日

2

うしやま よしひこ
牛山 吉彦

議席 5

1. 持続可能な森林整備・管理への富士見町の取り組みについて
2. 「高精度な森林資源情報等の公開（林野庁）」の活用について
3. 長期的視点における富士見町の林務行政について

3

やまぐち はじめ
山口 肇

議席 2

1. 農業施策について
2. 障害者支援について
3. 中学校部活動の地域移行について

4

にし あきこ
西 明子

議席 10

1. 女性・若者の参画に向けた取り組みについて
2. 包括的性教育への町の理解と取り組みについて
3. 富士見町地球温暖化対策実行計画における町としての取り組み

5

おだ てるお
織田 昭雄

議席 1

1. 諏訪南インター周辺の開発計画について
2. 国道や県道の改良工事について
3. 観光施策の充実について

6

わたなべ よう
渡辺 葉

議席 6

1. 観光振興による外貨獲得に向けた設備投資について
2. 観光振興による地域内経済循環施策について

7

やじま たかし
矢島 尚

議席 3

1. 公共施設への地球温暖化対策について
2. 小中学校の給食について
3. 小中学校の来年度タブレット更新について

8

なとり くにはる
名取久仁春

議席 7

1. ハヶ岳観光の強化について

3月4日

■ 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。■ 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを責任編集しています。

新音声告知放送は全世帯に情報が届くものか

答弁 基本的には現在の機器の入れ替えを行うもの



おぐら ゆうこ
小倉 裕子 議員

- Q** 電話による詐欺被害が横行し、誰もが安心して使用できる通話手段が必要と考える。気軽に町内だけでやり取りできる、以前使用していた有線電話のような機能を持つ機器が必要ではないか。
- A** 特殊詐欺や悪質な勧誘による被害を防止するために、通話の内容を録音する機能や、被害を引き起こす可能性のある着信を自動的に遮断切断する対象機器購入費の補助を実施している。
- Q** 通話手段確保の大切さについて問うている。機器入れ替えのタイミングで、簡易な操作で安否確認もできる機器を選定すべきでは。頻発する災害、増加する独居の現状を見ても有効な機器配備は必要な措置だと思うが。
- A** 双方向の受け皿となる体制を作ることは難しい。
- Q** 難しくても、必要と判断したならば対応策を検討していくべきでは。また、新告知放送機器配備で、全世帯に情報が届くようになるのか。
- A** 現状の機器の入れ替えがベースとなるため100%ではない。そのためLINEやIPスピーカーでの補完を考えている。
- Q** 財源は基金か。通信機器、環境の違いによる町民負担の公平性についてはどのように考えるか。
- A** 基金の一部を取り崩す。使用料は現在と同額に、保守費や通信費は検討する。
- Q** 町民への情報は一元化し、100%同じ情報を全町民が共有できるようにするべきだと強く思うが。
- A** 今後も社会の情勢を見ながら引き続き検討して行きたい。

春の全国交通安全運動
期間：令和5年 5月11日(金)～20日(土)

運動のスローガン
「自転車に 乗るなら必ず ヘルメット」
交通ルールを守って交通事故が起きないようにしましょう！
一戸一戸一軒運動のご協力 よろしくお願ひします。

〇〇町交通安全協議会 / 交通安全協会 〇〇〇支部

春の全国火災予防運動
期間：令和5年 3月1日(金)～7日(木)

全国統一「お出かけはマスク片付け 火の用心」
防火徹底

月 日	時間	行事内容	場所
2月26日(日)	9:00～	防火パレード	町内全域
3月1日(金)	9:00～	防火対策情報部等	町内対策部
3月7日(木)	9:00～		

お問合せ：〇〇消防署 〇〇分室
電 話：〇〇-〇〇〇〇

次ページもご覧ください

交通安全

火災予防

様々な情報、アンケート
友人との電話も

アンケート

全ての情報が公平に全町民に届くことが重要

町や地域にフォレスター制度を導入しては

答弁 大変有用な制度であり前向きに検討したい



うしやま よしひこ
牛山 吉彦 議員

- Q** 森林所有者の不明や管理方法のリテラシーが課題なのでは。
- A** 生活様式が変化し山に行く機会が減った現代では、森林所有者が判らないことや管理の仕方がうまくいかなくなっていることは事実である。
- Q** バイオマスの普及促進は。
- A** 豊富な森林資源の活用は二酸化炭素の削減において非常に大きな役割を果たすと期待されており、バイオマスボイラーの普及は地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の大きな柱の一つである。
- Q** 長期的視点での森林づくりのためにフォレスターが必要では。
- A** フォレスターは、森林のマスタープラン作成と実現、所有者や林業事業体との合意形成が主な業務。富士見町が森林整備を効果的効率的に進めていく上では大変有用な制度であり、専門家の招聘だけでなく集落支援員という制度も1つのアイデアとして研究したい。
- Q** 広域的な対応や連携は。
- A** 森林整備は広域的な対応や連携が必要。フォレスター制度を研究し有用性が確認できれば、フォレスターを核とした広域展開を近隣市町村と相談したい。
- Q** 長伐期間伐型施業の自伐型林業と短伐期皆伐型施業の大規模林業のどちらが富士見やこの地域に適しているのか。
- A** 地域性や所有者の意向、林業事業体の考え方もあるが、地球環境の負荷軽減という公益的機能を持っている森林は、組織や町全体の取り組みの中でしっかりとこの公益的な価値を維持できるように進めていくべきだ。



群馬県片品村「地域フォレスター募集」HP

5年に一度の水張要件の変更周知を！

答弁 令和7・8年度の水張についてはまだ不透明

Q 農業従事者の方々の不安払しょくのために、早急に変更の周知を。

A 国・県からの説明を受けた後、できる限り早く制度変更を知らせたい。

Q 町の田園風景を守るためにも、町独自の農業施策をもつ時期では。

A 基盤整備で農地を集約。企業経営体により、農地の維持管理。国の制度を活し、地域を農業で支える。長期的には、兼業農家支援の検討も必要。

■障害者支援

Q 町内の障害者支援事業所に対する支援は。

A 障害者就労施設からの物品等の調達を図るための方針を策定しており、町の施設における就労作業の機会や場も提供している。

Q 今後の支援の継続は。

A 年間目標を540万円とし、今後も引き続き取り組む。令和7年度は、町政70周年記念イベントもあるので、福祉事業所による物品販売等も検討している。

■中学校部活の地域移行

Q 地域移行により、これまでの部活動とは全く異なるものになるのでは。

A 中学校の教育活動の中から部活動という生徒にとってが一番の関心事だった活動がなくなる。

Q 国や県からの補助金がなくなった場合の公費負担を。

A 行政も何らかの対応をしなければならないと考える。全てを保護者負担とするものではない。連携会議、クラブ指導員も交えて生徒保護者との協議を重ねていく。

とて焼き後の春の雪



映像はこちら



やまぐち はじめ
山口 肇 議員



包括的性教育の理解と取り組みは

答弁 学校教育、社会教育で補完し進めていく

Q 「こども計画」に記載予定の包括的性教育とは。

A ユネスコが2009年に提唱した概念。8つのキーコンセプト、①人間関係②価値観、人権文化、セクシュアリティ③ジェンダーの理解④暴力と安全確保⑤健康とウェルビーイングのためのスキル⑥人間の体と発達⑦セクシュアリティと性的行動⑧性と生殖に関する健康を5歳～18歳までの4つのグループごと繰り返し学習するもの。

Q 小中学校での外部講師との連携事例は。

A 県警のスクールサポーター等で構成される「性被害防止キャラバン隊」、助産師会等の外部講師の協力を得て進めている。

Q 性や体の悩みについての相談機関は。

A 性の悩みに限らず、住民福祉課と子ども課で対応している。相談機関のパンフレットは特に女性が手に取りやすい所へチラシを配置している。

■公共施設の温暖化対策

Q 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)では今後、公共施設の新築、改修はZEB Ready(※)相当を目指すとしている。新設される児童クラブは。

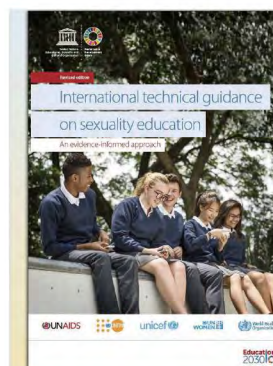
A 児童クラブは児童の出入りや換気で玄関や窓を開く時間が多いため、ZEB Ready対応はしていないが、天井、外壁、床に高断熱素材、複層ガラスを入れ一定の設備は整える。



映像はこちら



にし あきこ
西 明子 議員



包括的性教育の8つのキーコンセプトが掲載されている

『国際セクシュアリティガイダンス』(ユネスコ編)



▲日本語版はこちら

※ユネスコのHP、デジタルライブラリーからも読むことができます。

包括的性教育は人権尊重が基盤！

※高断熱化および高効率な省エネルギー設備を整えて50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物

富士見の未来を切り開く観光戦略は

答弁 リニア開通は町の将来を大きく変化させる

映像はこちら



おだ てるお
織田 昭雄 議員

Q 諏訪南インター周辺への企業誘致をどう進めて行くか。

A テクノ街道沿線への企業集積を図る為に工業振興補助金や用地取得や土地造成費の補助事業の創設など制度の拡充を行ってきた。町内企業の増設や町外企業の進出に繋がる案件が出て来た。現在進出に向けて調整を進めている企業もある。テクノ街道沿線の土地所有者への意向アンケートを実施し、まとめりそうな土地は民間事業者と連携して町内で移転を考える企業や町内へ進出を考える企業に情報提供を図ります。

Q 観光施策の充実にハケ岳観光の充実やパノラマの施設更新計画やリニア開通を見据えた構想の財源確保をどう考えていくか。

A リニア開通が富士見町に与える効果、ポテンシャルについて、本年度国内大手のシンクタンクに調査委託をした。報告書は中間報告の段階だが開業した場合のポテンシャルは、人口増加、観光客の増加、地価の上昇が確実にあると数字で示された。これは将来的に地方税収を増加させる大きな要素になる。財源の確保は当然必須事項であり、職員には常に財源確保が有ったの事業実施だと言う事を念頭に検討を

進めるように指示している。国や県への働き掛けや企業版ふるさと納税の活用など財源確保にしっかり務めていく。



これから先の開発に期待する南インター周辺

観光施設への投資による税収増や経済効果は

答弁 分かりやすく伝え、町民の意見を計画に反映

映像はこちら



わたなべ よう
渡辺 葉 議員

Q 町計画や報道による今後4年間の観光施設投資額はパノラマ105億円、創造の森3億円以上、新井戸尻考古館10億円、葛木宿直売所1.3億円で推計120億円。今後財政難も予想される中、町全体で応援できる観光施策にするには、税金が財源となる投資の町民へのリターンに関する数値的根拠が必要では。

A パノラマ全設備更新した場合100億円だが、そんなに大きな投資はできない。あらゆる財源を探したく、体験型ふるさと納税拡充や現地決済、 Gondola内宣伝は考えている。入山税の動きはないが今後慎重に考えていく。観光による経済効果見える化は実施予定。特にハケ岳観光強化は町全体で投資回収したい。

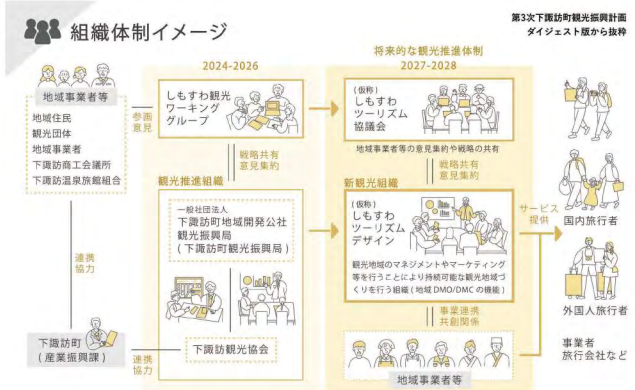
Q 地域への経済効果波及策として、集落行事とリゾートをセットにした宿泊パッケージ企画や民泊開業支援などは。

A 創造の森・パノラマ・葛木宿設備投資と無料キャンペーン・周遊割引券・観光MAPのDX・接遇研修に集中したく、まだ風呂敷を広げたくない。

Q 町全体の観光課題分析、戦略作り、観光商品開発、補助金調達、経済効果推計や町民理解促進など、すべて観光協会と町でできるのか？ DMO設立、

地域プロジェクトマネージャーなど国財を活用した観光地域づくりの実務に専念できる人材の配置は。

A 現組織のマンパワーでは不十分。観光協会会長を町長が担う現状も課題あり。DMO研究も含め今後観光協会役員と検討する。



下諏訪町の持続可能な観光地域づくり組織

物価高騰による今後の給食費の見通しは

答弁 小中学校 R7 年度の保護者負担は現状維持

- A** 食材費の物価高騰が進む中、栄養士が行う食材や献立の工夫では対応しきれない状況となっている。R7年度から現行の給食費1食当たり小中学校ともに20円の値上げにより、小学校330円、中学校380円とする。値上げ分の保護者負担は求めず、1食当たり小学校45円、中学校50円を公費負担するため保護者負担は小学校285円、中学校330円となる。しかしながら公費負担も永遠に続けていくことは困難である、いずれは保護者の皆様へご負担をお願いしていかなければならないと考えている。国による給食費無償化の検討もされていることから合わせて注視していく。

■地球温暖化対策

Q 公共施設への太陽光発電設備設置の考えは。

- A** 温室効果ガス削減目標で最も効果が期待される取組みは、太陽光発電設備導入であり計画的に公共施設に設置し発電される電力を活用していくことが必要と考えている。設置方法は長期的な視点で

映像はこちら



やしま たかし
矢島 尚 議員

PPA方式は有力な選択肢の一つ。また新たな次世代型の太陽光発電設備として期待されているペロブスカイト太陽電池についても検討を進める。



1食小学校45円、中学校50円を公費負担

ハケ岳観光整備の概要は

答弁 創造の森カート延伸と自然再生基礎調査を先行

Q ハケ岳観光強化の概要は。

- A** 官民共同で知恵を絞り、財源確保もしながら計画的に整備していきたい。令和7年度中には全体的な整備計画を決定して整備期間は今のところ5年程度を想定。創造の森のカーートの延伸と自然再生の基礎調査を先行する予定であるが、財産区の皆さんやペンション村の皆さんなど、地域の皆さんに協力してもらい、決定していく。

Q 例えば定期的に話し合いを持つとかいうことはあるのか。

- A** これからコンサルも入るので、計画段階から住民の皆さんの意見を聞いていく。定期的という事もあるかもしれないが、まだ決めていない。

Q 遊覧カーートの延伸距離と整備費用は。

- A** 約260m、2500万円を予定しているが、投資効果が高いルート进行调整したい。

Q 望峰の丘への延伸ではなく、今の降車場所そのまま改めて乗り換える方法のほうが、望郷の丘に行くには便利だと思うが。

- A** 乗り降り等については当然スタッフを配備するとか安全性を確保する必要がある、関係者と改めて協議する。

映像はこちら



なとり くるはる
名取 久仁春 議員

Q インバウンドを取り込むためにはやはり宿泊施設が必要であるがどう考えるか。

- A** ペンションビレッジや貸別荘の活用が考えられるが、これから関係者と相談していく。

Q 創造の森へのアクセス手段としてのリフトのリニューアル計画は。

- A** 7年度中に調査やリニューアル案を検討すると聞いている。

方向性イメージ図
※現時点のイメージ。変更の可能性あり



創造の森、整備計画イメージ図



うしやま もとき

議長 牛山 基樹

議会では3月定例会から本会議を含む委員会他の議会活動において、デジタル機器の使用が始まりました。議会改革実行委員会を中心とした議会運営改革の一環です。地方議会のデジタル化のきっかけとなったのはコロナウイルス感染症への対応で、議員が議場に参集できない時にも議事を止めないなど、有事の際のBCP効果を含めオンライン・デジタル化が広く進みました。

デジタル活用の目的は効率の追及や大量な紙の削減ではありませんので、一気に進めるといよりも課題を見つけ改善しながら今は丁寧に進めています。今後は議員の便宜だけでなく、住民との距離を縮めるツールとして「**より多くの住民の方の声を集め、より多くの他者に情報を発信できる**」、「**見やすい・わかりやすい・親**

しみやすい」といった情報公開と住民参加の機会にしていける必要が求められます。

また議員には政策目的を明らかにしたうえで、合理的根拠（エビデンス）に基づく発言（EBPM）が求められています。例えば「▲▲が言っていたんだけど〇〇で、××した方がいいんじゃないか」といったエピソード発言にも、執行側、議員側双方が真意や背景を即座に調べられることで、質の高い客観的な判断や深い議論に繋げることもできます。

これまで以上に何のためのデジタル化なのかを考え、住民から信頼され住民の声が届く、開かれた議会にしていきたいと思います。

臨時会

第541回

令和7年2月

令和7年2月7日臨時会が行われ、一般職・特別職の職員の給与に関する条例改正や一般会計補正予算を含む4つの議案について審議しました。決定事項は以下の通りです。

動画はこちら



決まったこと

審議のなかみ

補正
予算

富士見小児童クラブ工事



1億 649万円

補正
予算

町民応援振興券発行（町民1人3000円）



4,730万円

補正予算（児童クラブ工事）

Q 児童クラブ事業費について8月の臨時会以降、当事者の意見聴取の経過は。

A 保護者へはアンケートを実施し、支援員さんとは複数回会議を設けている。富士見小のほか本郷、境小の児童クラブ支援員さんにも報告し、設計に関する意見をもらい、トイレや休養室等の設計に反映している。

賛成意見 児童クラブ事業について、8月の臨時会後、当事者への意見聴取がなされてきた。設計だけでなく運営体制においても、当事者の意見を踏まえ改善に取り組まれてきた。新設にあたり町の持ち出しを抑えるため、国や県へ粘り強く交渉し補助額増に繋げようとしていることは高く評価している。今後、現場から上がった課題を役場横断的に解決に向けていく姿勢に大いに期待したい。

令和7年2月 第541回 臨時会（賛否が分かれた審議）

○賛成 ●反対 ※棄権

議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	三井 新成	牛山 吉彦	渡辺 葉	名取久仁春	五味 仙一	小倉 裕子	西 明子	採決結果
議案名等											
【町長提出】											
[議案第2号]特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
[議案第4号]令和6年度 富士見町一般会計補正予算(第8号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【反対意見】 今、国民生活は非常に苦しい状況にあって、特別職のなかでも今回、議員報酬の期末手当の質上げというのは住民の感情に反するものではないか。一般職の質上げについては賛成するが、特別職の質上げについては反対。議員報酬の質上げ以外については賛成の立場なので、全体を反対せざるを得ないのは残念。											

3月議会で決まったこと

3月定例会は2月27日から3月14日の会期で開催され、補正予算や条例改正、令和7年度一般会計予算、特別会計予算、委員会提出議案、陳情等、35議案を可決、承認しました。

条例改正



押印見直し

該当条例に係る提出者の署名・押印、公印の署名・押印の義務付けを廃止し、公布の掲示場所に町ホームページを追加。

条例改正



会計年度任用職員の給与等見直し

地方自治法の改正に伴い会計年度任用職員に勤勉手当を支給。一般職・教職員それぞれの給料表の改定に伴い改正。

条例改正



国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の賦課限度額の改正に伴う改正。新型コロナウイルス感染症に係る保険料減免期間の経過に伴い該当規定を削除。

取得財産

2,833万円



新井戸尻考古館用地取得

現井戸尻考古館の南西8,636㎡を新考古館建設用地として取得。

補正予算

2,770万円



保育支援システム導入

担任保育士に1台PC端末を配備。ICTシステム整備により、保護者の利便性の向上や保育現場の負担軽減を図る。

補正予算

4,186万円



道の駅の工事費増額

資材費・人件費の高騰等で工事見込額が増額。オープン時期もR7夏からR8春に変更。

令和7年3月 第542回 定例会 採決結果 (賛否が分かれた審議)

○賛成 ●反対 ※棄権

議員	織田 昭雄	山口 肇	矢島 尚	三井 新成	牛山 吉彦	渡辺 葉	名取久仁春	五味 仙一	小倉 裕子	西 明子	採決結果
【町長提出】											
【議案第20号】令和6年度富士見町一般会計補正予算(第9号)	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
【反対意見】 直売所に商品を置く生産者組合の皆さんや道の駅を運営する皆さんとの合意形成はもちろんのこと、彼らの意向を優先すべき。工期や工事期間中の既存店舗への影響などには改善の余地があると考え、反対。											
【町長提出】											
【議案第23号】令和7年度富士見町国民健康保険特別会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
【反対意見】 加入者の減少により、国からの交付金が減少し、加入者の負担が増加。国の社会保障制度審議会でも「相当額の国庫負担が必要」との勧告がなされており、政府による大幅な財政支援が必要と考え、反対。											



動画はこちら



動画はこちら

審査のなかみ

委員会で審査された内容

総務経済常任委員会

押印見直し

- Q 町ホームページへの追加掲載の頻度は、公布は年間でどの程度か。
- A 条例は議会ごとに公布（定例会は年4回開催）、規則や要綱は各庁議ごとに公布（庁議は月2回開催）。

会計年度任用職員の給与等見直し

- Q 会計年度職員の人数及び改正に伴う影響額は。
- A パートタイム109人、フルタイム65人、合計174人、影響額は1億600万円を見込む。

道の駅信州薦木宿の工事費増額

- Q R8年春のオープンを目指し6月着工とのことだが、8月の盆明けから着工し、翌年のGW前にオープンすれば直売事業等への影響が少ないのではないか。
- A 工期にゆとりを持たせることで、業者を交えて道の駅や生産者と工事工程の調整をすることができる。
- Q 仮設店舗に情報ステーションは活用できないか。
- A 国土交通省の施設であり、調整が必要だが活用を検討する。
- Q 6月着工後も、既存施設の解体を8月以降にすることは可能か。
- A 発注してもすぐに取り壊すのではなく、資材発注や影響を最小限にするための準備期間を確保したい。

△
切り
取り
線
▽

< 切り取り線 >

社会文教常任委員会

国民健康保険条例の一部改正

- Q 賦課限度額が上がるが、およそどのくらいの保険料の値上げになるのか。
- A 2月1日時点で国保への影響は75万円くらいの増額、軽減所得判定基準により32万円くらい減額となる。
- Q 負担増及び減となる方の人数は。
- A 増えるのは22世帯、減るのは12世帯。

新井戸尻考古館用地取得

- Q 農地としては坪単価が高くないか。
- A 不動産鑑定した際に、農地を農地として利用するのではなく、宅地見込み地として評価を行い、また周辺の取引事例等の単価を参考に価格設定を行った。もちろん宅地より安価である。

保育支援システム導入

- Q 保育士の扱うPCは机の上に置くのか。
- A 保管庫に保管する。台数は担任保育士+予備を考えている。
- Q 保護者はスマホにソフトを入れるのか。
- A 専用アプリを入れていただく。

あなたの声を聴かせてください

上部のハガキを切り取り、みなさんのお声を聴かせてください。議会では町民の皆さんと共に歩む開かれた議会を目指します。



本会議における 質疑

議案：児童クラブの国庫補助金補正

- Q 工事費の国庫補助額が5/6に増え、町負担額が887万円になった理由は。
- A 2月臨時会時点では国：1/3 県・町：1/3ずつだったが、待機児童解消のための施設整備費として国庫補助率の高上げを獲得できた。

保育支援システム導入

- Q これまでのPC配置状況は。
- A 各保育園に2台ずつ、事務室に置いてある。
- Q 保育士の負担軽減以外に、保護者のメリットは。
- A 出欠席の連絡や園からのお便りも移行していく予定。

【陳情第 7-1 号 福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情】 採択し意見書送付

長野県諏訪郡富士見町落合 10777
富士見町議会 行き



みなさんの **声** を聴かせてください

貴重なご意見ありがとうございます。
もしよろしければ該当欄にマル印をつけて投函してください。

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

※いただいた内容は議会だより（匿名）で掲載させていただく場合があります

☐ 許可する ☐ 許可しない

< 切り取り線 >

TOPICS

小学校保育園あり方検討
特別委員会の設置

富士見町議会では令和7年3月定例会において、全議員を委員とする「小学校保育園あり方検討特別委員会」を設置することに全会一致で可決しました。教育的視点に加え、国の財源、統合・他公共施設との複合化・長寿命化改修などの方法、防災拠点としての活用など、小学校保育園のあり方の様々な選択肢について議会として知見を広げることを目的とし、今後様々な角度から横断的に調査研究していきます。

NEWS

Facebook
随時更新中！

富士見町議会ではFacebookを随時更新中です。一般質問や本会議の情報を確認いただけます。ぜひご活用ください。



議会活動、全員協議会のスケジュールは
ホームページをご覧ください。



TOPICS

女団連との意見交換会

2月13日、富士見町女性団体連絡協議会（女団連）のメンバーと女性議員3名で意見交換会を行いました。

富士見町の女団連は、現在、富士見町栄養士会、富士見町食生活改善推進協議会、富士見町更生保護女性会の3団体から構成され、諏訪地区の女性団体や姉妹町の西伊豆町との交流活動などを行っています。今回は①女性の立場で見た富士見町の課題②町で取り組んでいる子育て支援という、2つのテーマについて懇談しました。こちらで伺った意見は各議員の一般質問など様々な場面で活かしていきます。



女団連の西伊豆交流での様子

議会を傍聴
しませんか？

定例会（予定）

6/5 木

臨時会（予定）

5/16 金

一般質問（予定）

6/9 月・10 火

※会期中であれば傍聴席から傍聴可能
※入退場自由。役場4階へお越しください

予約制の託児も利用できます

これまでの傍聴人 単位：人



POST
SCRIPT

編集後記

議会だよりの担当になって2年が経ちました。新人議員だけの広報編集委員として住民目線の広報誌に努めてきましたが、稚拙であったり拙速だった部分もありました。議会だよりが単なる広報（情報提供）に留まらず、住民の皆さんと議会、さらには町政を繋ぐコミュニケーション・ツールになることを期待しつつ、次号以降に引継ぎたいと思います。

議会広報編集委員長 牛山吉彦



議会Webサイト



議会チャンネル